

第87回(令和4年6月8日) 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザリーボード	資料3-7
藤井先生提出資料	

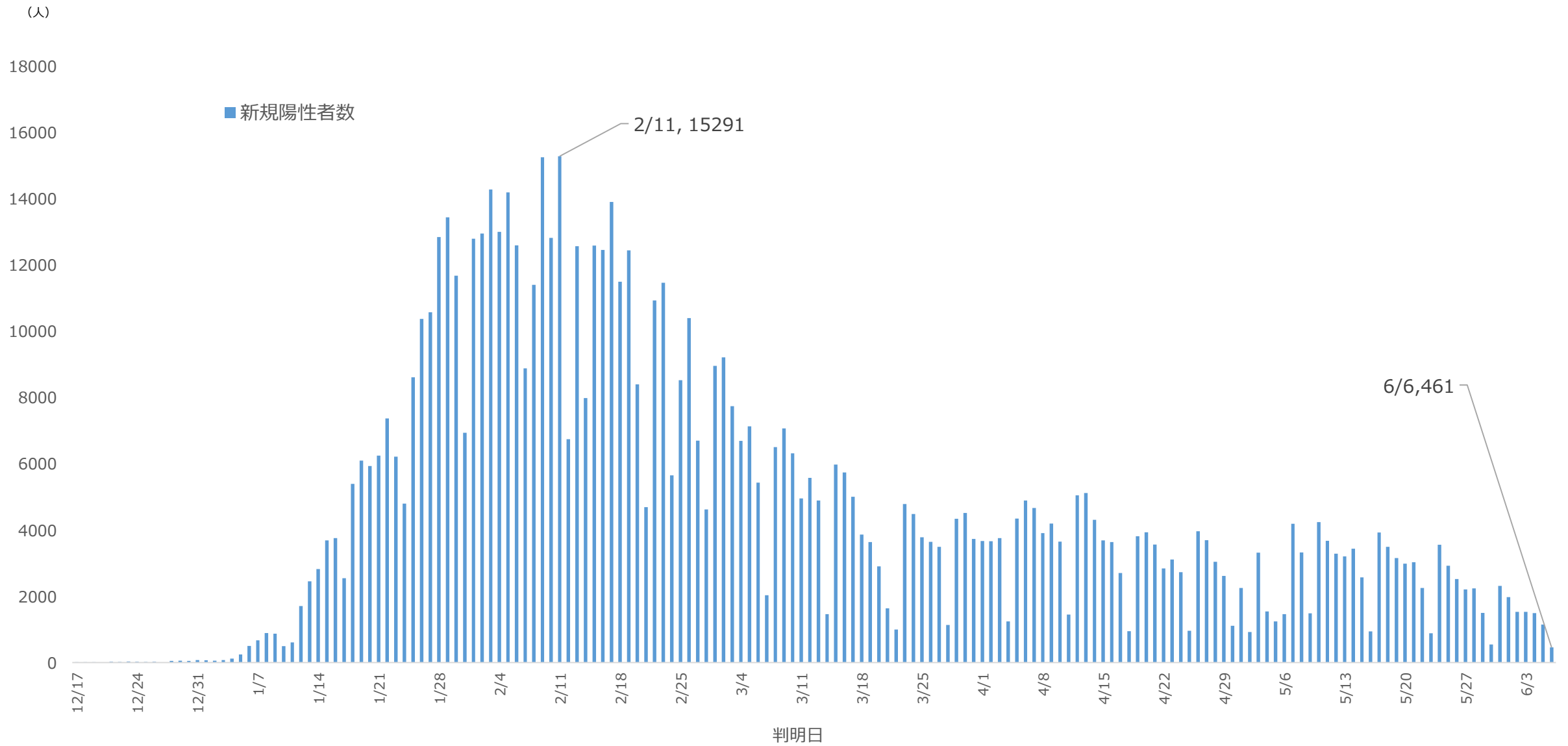
# 現在の感染・療養状況等について

大阪府健康医療部

- |   |             |        |
|---|-------------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移    | P3~8   |
| 2 | 入院・療養状況     | P9~14  |
| 3 | 感染状況を踏まえた対応 | P15~19 |

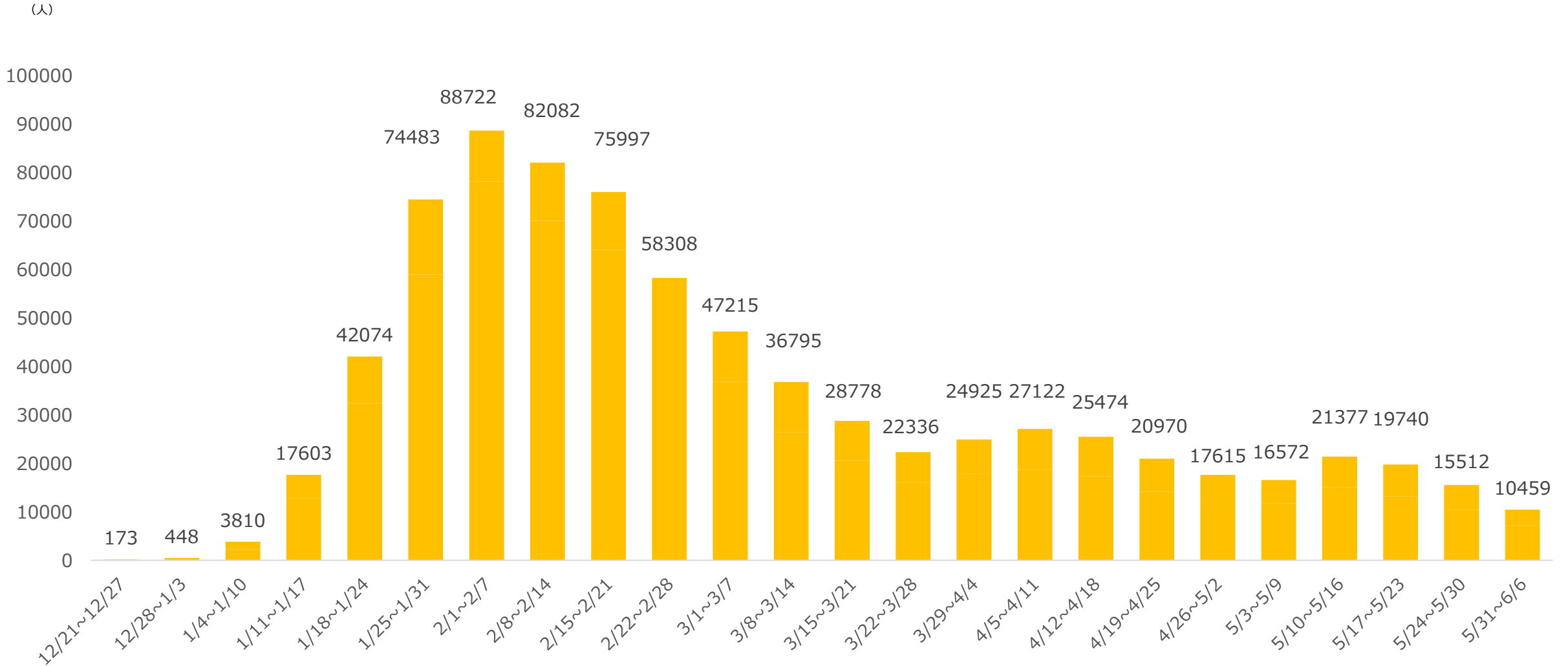
# 1 陽性者数等の推移

# 陽性者数の推移（6月6日時点）



# 7日間毎の新規陽性者数（6月6日時点）

◆ 7日間毎の新規陽性者数は、3週連続で前週より減少。（直近1週間の1日あたり新規陽性者数 約1,494人）



# 新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移（6月6日時点）

上段：新規陽性者数  
下段：前週同曜日増加比

◆ 5月14日以降、前週同曜日を下回っている。

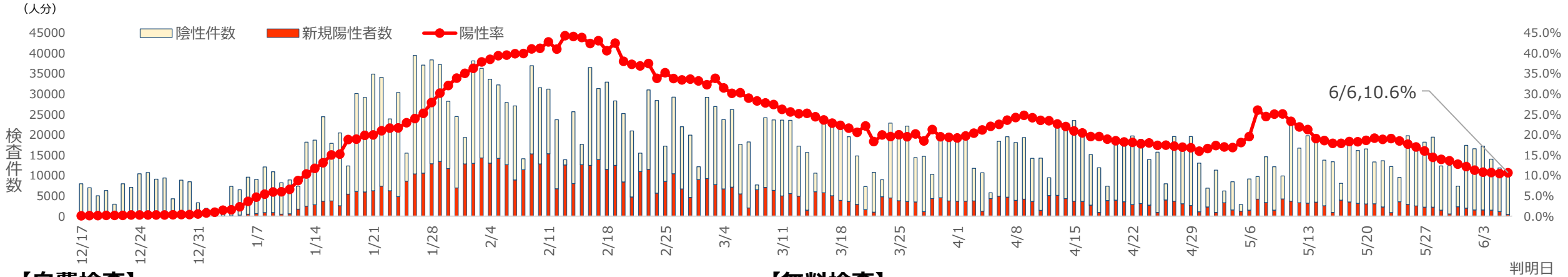
4月	17	18	19	20	21	22	23	週合計
	2,706 (0.74)	951 (0.66)	3,819 (0.76)	3,934 (0.77)	3,565 (0.83)	2,845 (0.77)	3,112 (0.85)	20,932 (0.78)
	24	25	26	27	28	29	30	週合計
	2,732 (1.01)	963 (1.01)	3,966 (1.04)	3,695 (0.94)	3,045 (0.85)	2,619 (0.92)	1,112 (0.36)	18,132 (0.87)
5月	5月1日	2	3	4	5	6	7	週合計
	2,252 (0.82)	926 (0.96)	3,318 (0.84)	1,545 (0.42)	1,243 (0.41)	1,464 (0.56)	4,192 (3.77)	14,940 (0.82)
	8	9	10	11	12	13	14	週合計
	3,324 (1.48)	1,486 (1.60)	4,240 (1.28)	3,679 (2.38)	3,290 (2.65)	3,210 (2.19)	3,438 (0.82)	22,667 (1.52)
	15	16	17	18	19	20	21	週合計
	2,576 (0.77)	944 (0.64)	3,931 (0.93)	3,496 (0.95)	3,156 (0.96)	2,991 (0.93)	3,030 (0.88)	20,124 (0.89)
	22	23	24	25	26	27	28	週合計
	2,252 (0.87)	884 (0.94)	3,560 (0.91)	2,926 (0.84)	2,524 (0.80)	2,210 (0.74)	2,242 (0.74)	16,598 (0.82)
6月	29	30	31	6月1日	2	3	4	週合計
	1,502 (0.67)	548 (0.62)	2,314 (0.65)	1,977 (0.68)	1,531 (0.61)	1,530 (0.69)	1,493 (0.67)	10,895 (0.66)
	5	6	7	8	9	10	11	週合計
	1,153 (0.77)	461 (0.84)						

# 検査件数と陽性率（6月6日時点）

- ◆ 陽性率は緩やかな減少が続いており、6月6日時点で10.6%。
- ◆ 5月23日～5月29日の1週間における無料検査の陽性判明率は、前週より減少。

## 【行政検査】

※算出方法：「1週間の陽性者数（疑似症を除く）／1週間の検体採取をした人数」



## 【自費検査】

自費検査（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び  
新型コロナ検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
4/11～4/17	3,671 件	179 名	4.9 %
4/18～4/24	3,366 件	99 名	2.9 %
4/25～5/1	4,021 件	100 名	2.5 %
5/2～5/8	3,779 件	123 名	3.3 %
5/9～5/15	5,365 件	128 名	2.4 %
5/16～5/22	4,895 件	98 名	2.0 %
5/23～5/29	3,967 件	85 名	2.1 %

## 【無料検査】

新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数  
（ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計）

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
4/11～4/17	52,327 件	2,173 名	4.2 %
4/18～4/24	53,108 件	1,647 名	3.1 %
4/25～5/1	55,362 件	1,104 名	2.0 %
5/2～5/8	44,885 件	1,490 名	3.3 %
5/9～5/15	42,825 件	1,632 名	3.8 %
5/16～5/22	41,766 件	1,307 名	3.1 %
5/23～5/29	38,799 件	992 名	2.6 %

※1 陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としています。  
(陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査のいずれで陽性となったかは区別ができません。)

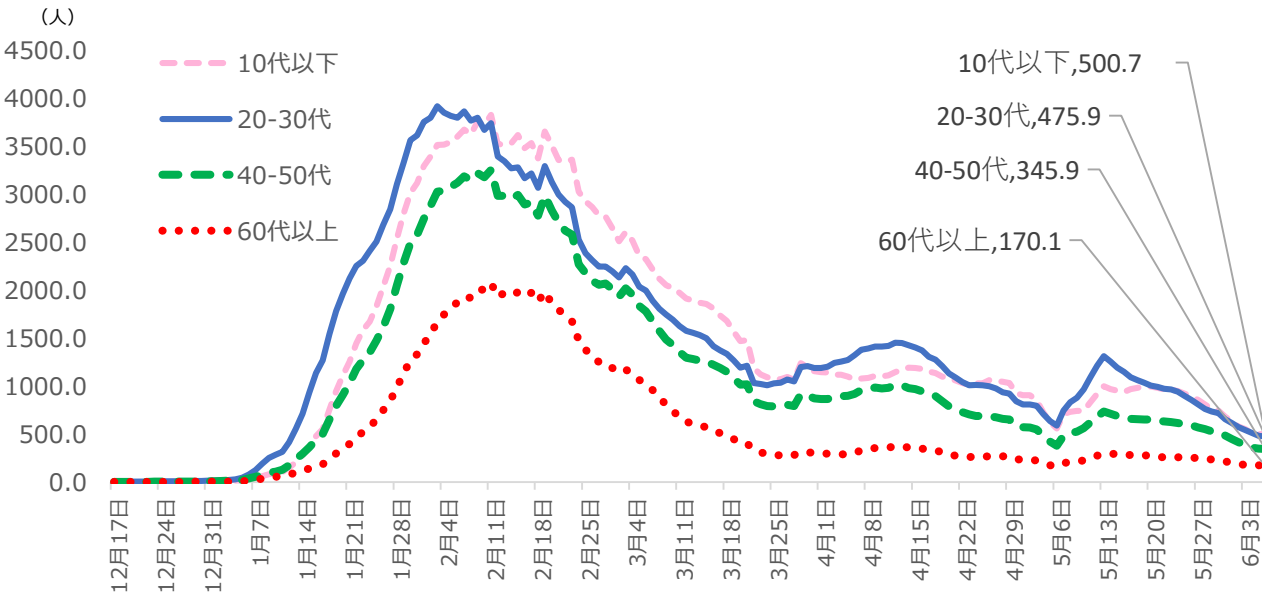
※2 上記のほか、高齢者施設等（入所・居住系）の従事者に対する抗原キット定期検査実施。

※3 当面の間、無料検査事業は継続。

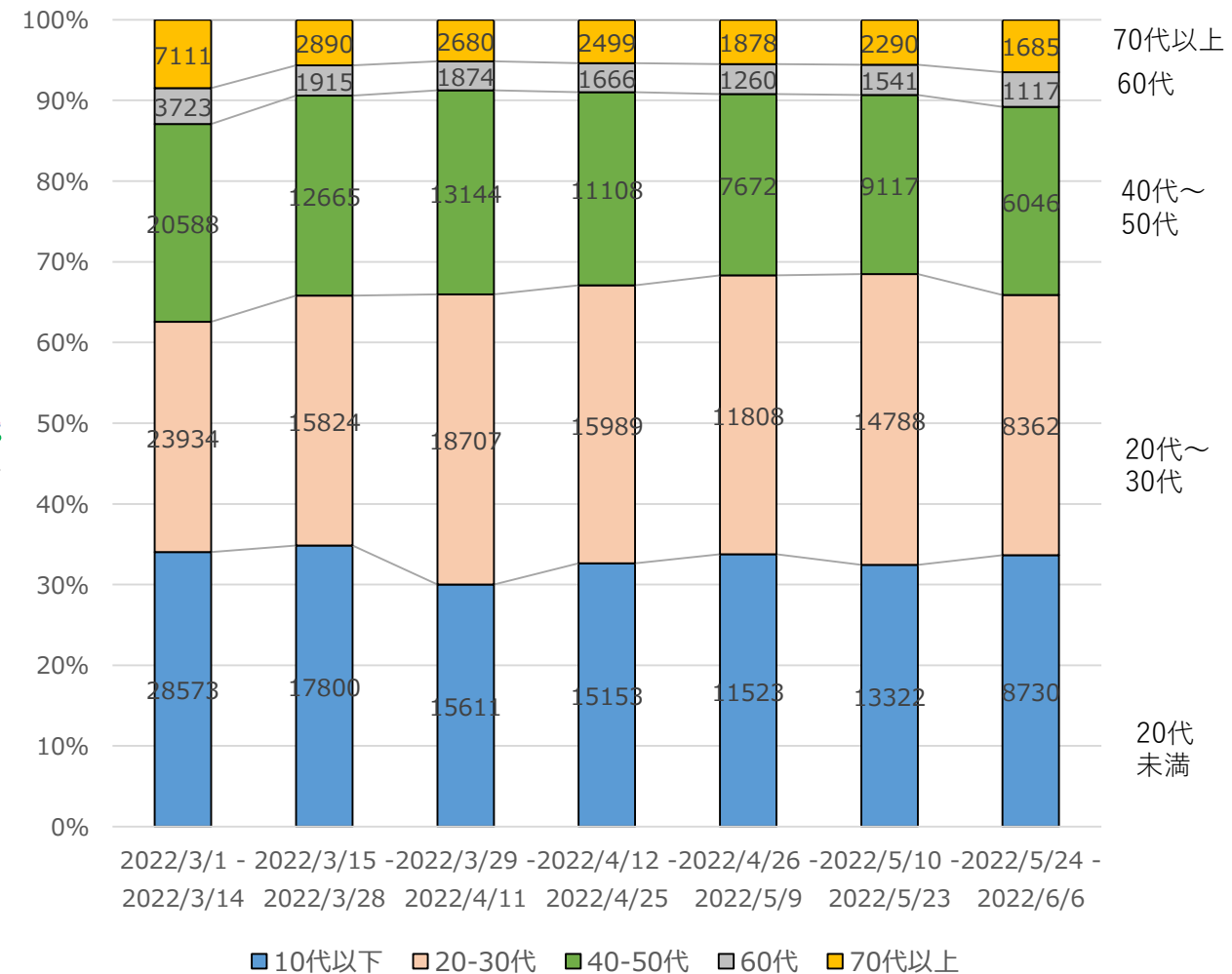
# 年代別新規陽性者数の推移（6月6日時点）

- ◆ 各年代別新規陽性者数（7日間移動平均）は、各年代とも緩やかに減少。
- ◆ 新規陽性者に占める年代別割合は、直近2週間で30代以下が6割強。

## 【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移】



## 【陽性者の年齢区分（割合、2週間単位）】



## 【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）前日増加比】

	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
10代以下	0.94	0.95	0.98	0.91	0.92	0.92	0.95	0.92	0.98	1.00
20～30代	0.94	0.96	0.98	0.91	0.94	0.93	0.95	0.94	0.94	0.99
40～50代	0.97	0.96	0.98	0.94	0.93	0.92	0.93	0.93	0.98	0.99
60代以上	0.99	0.95	0.98	0.93	0.95	0.93	0.95	0.97	1.00	0.97

前日増加比が1を超過した日



## 2 入院・療養状況

# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症・軽症中等症】

◆ 病床使用率は、直近で20%を下回り、6月6日時点で16.1%。

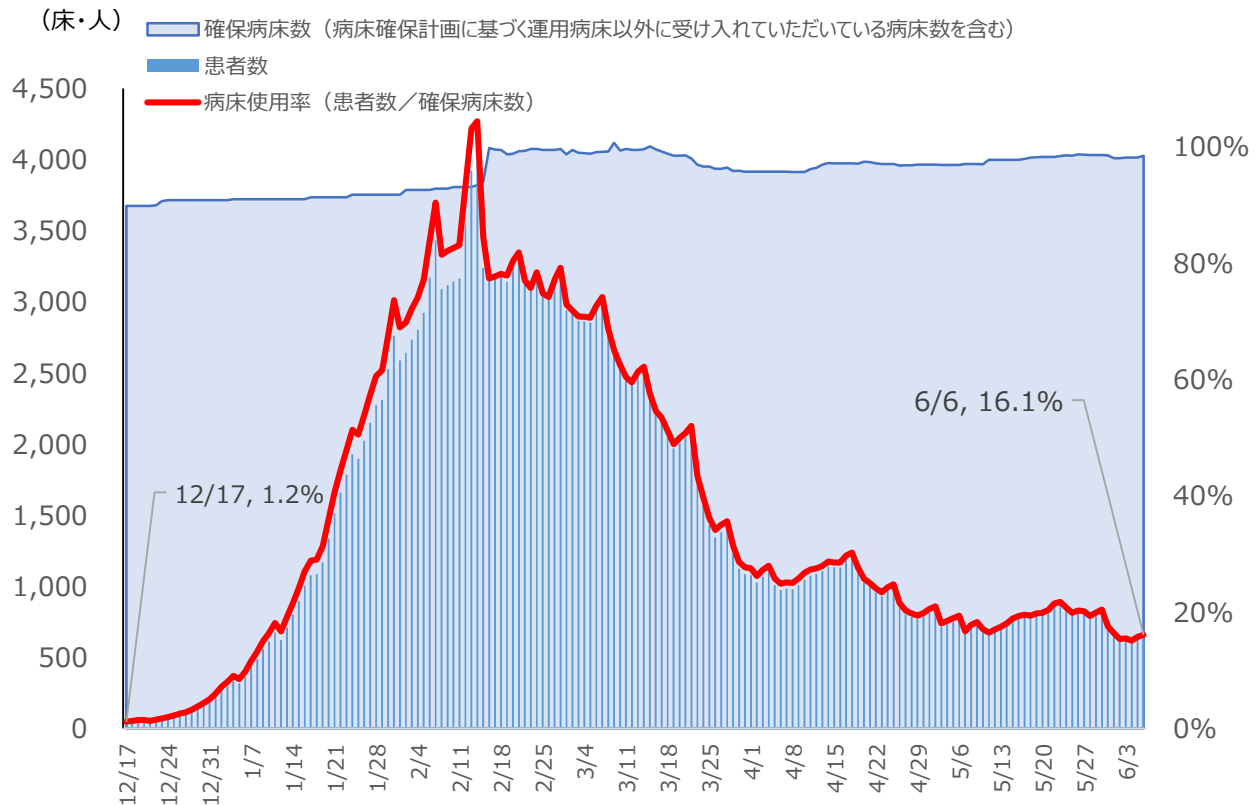
## ● 確保病床と使用率

6月6日現在 **病床使用率16.1%**

**病床数 4,028床 入院患者数 648人**

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数9床を含める  
これら病床を病床数に含まない場合、16.1%

確保病床数・病床使用率・入院者数



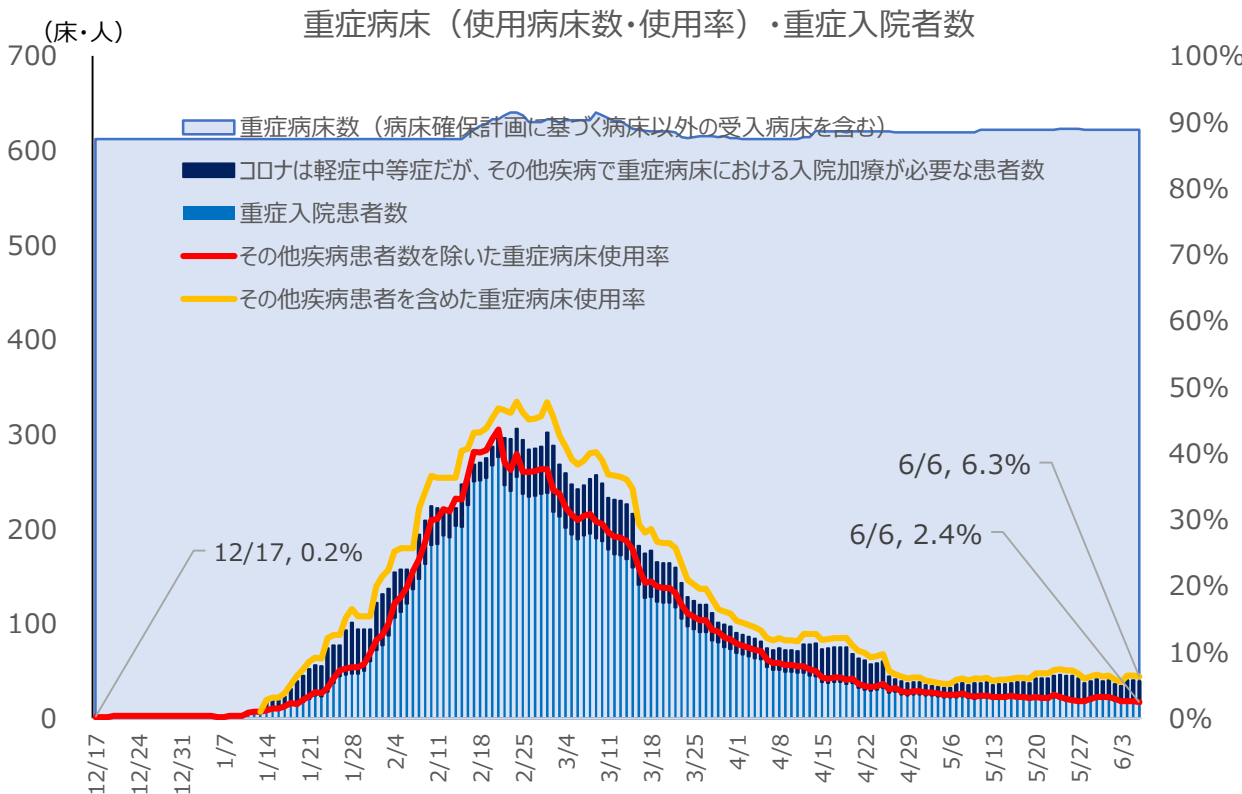
# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

◆ コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を含めた重症病床使用率は、6月6日時点で6.3%と低水準で推移。

## ● 確保病床と使用率

6月6日現在 **病床使用2.4% (6.3%)**  
**病床数 622床 入院患者数 15人 (39人)**

※ ( ) の%、人数は、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数24人を含めた場合の率と患者数

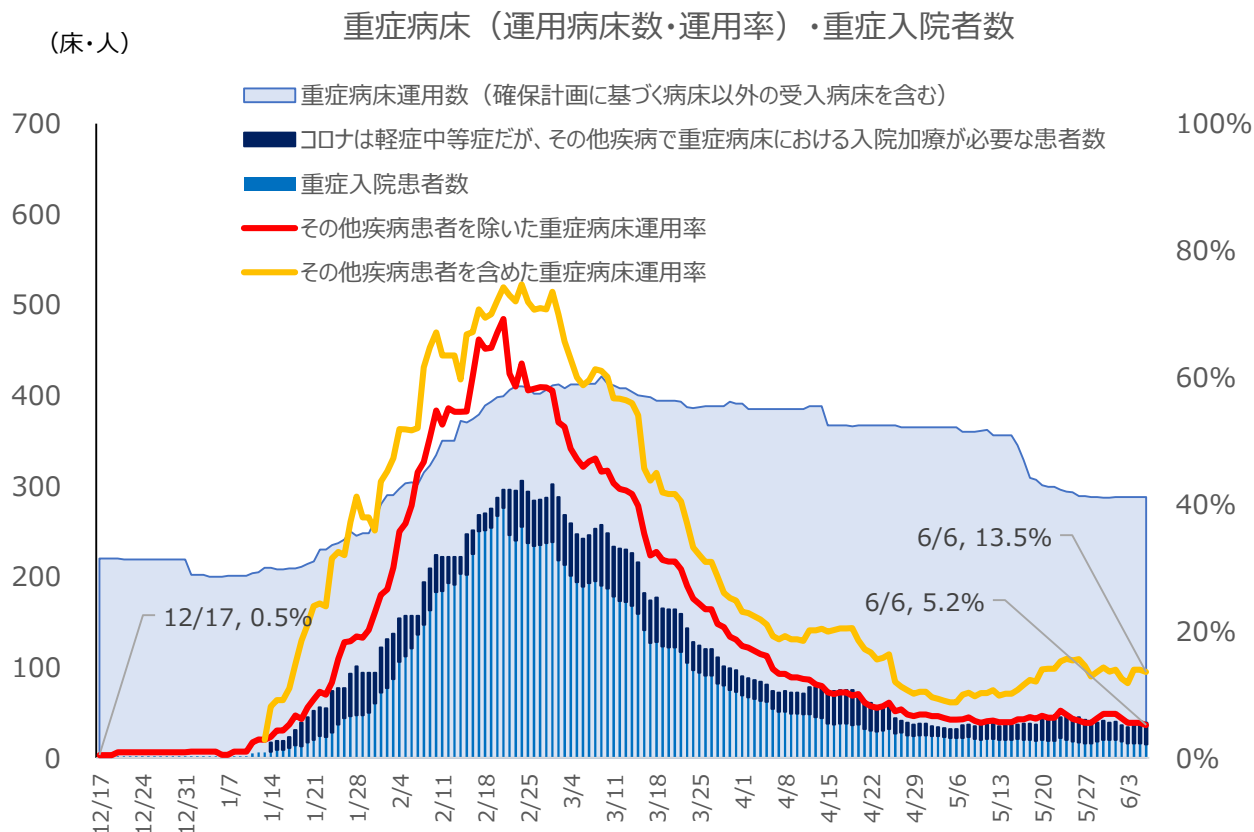


※5月13日、受入医療機関に対し、フェーズ2への引下げを通知

## ● 運用病床と運用率

6月6日現在 **病床運用率5.2% (13.5%)**  
**運用病床数 288床 入院患者数 15人 (39人)**

※左記に同じ



# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

◆ 軽症中等症病床使用率は、20%を下回り、6月6日時点で18.6%。

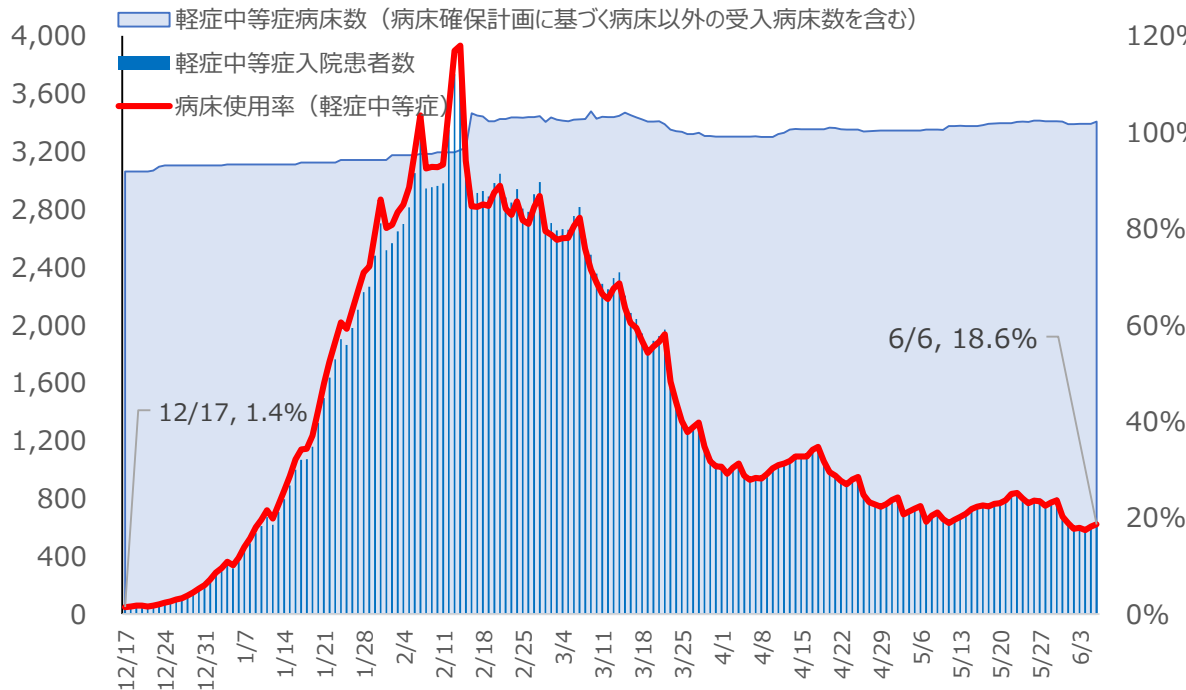
## ● 確保病床と使用率

6月6日現在 **病床使用率18.6%**

病床数 3,406床 入院患者数633人

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数9床を含める  
 ※患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数24人を含める。含めない場合は使用率17.9%、運用率24.4%。

(床・人) 軽症中等症病床（使用病床数・使用率）・軽症中等症入院者数



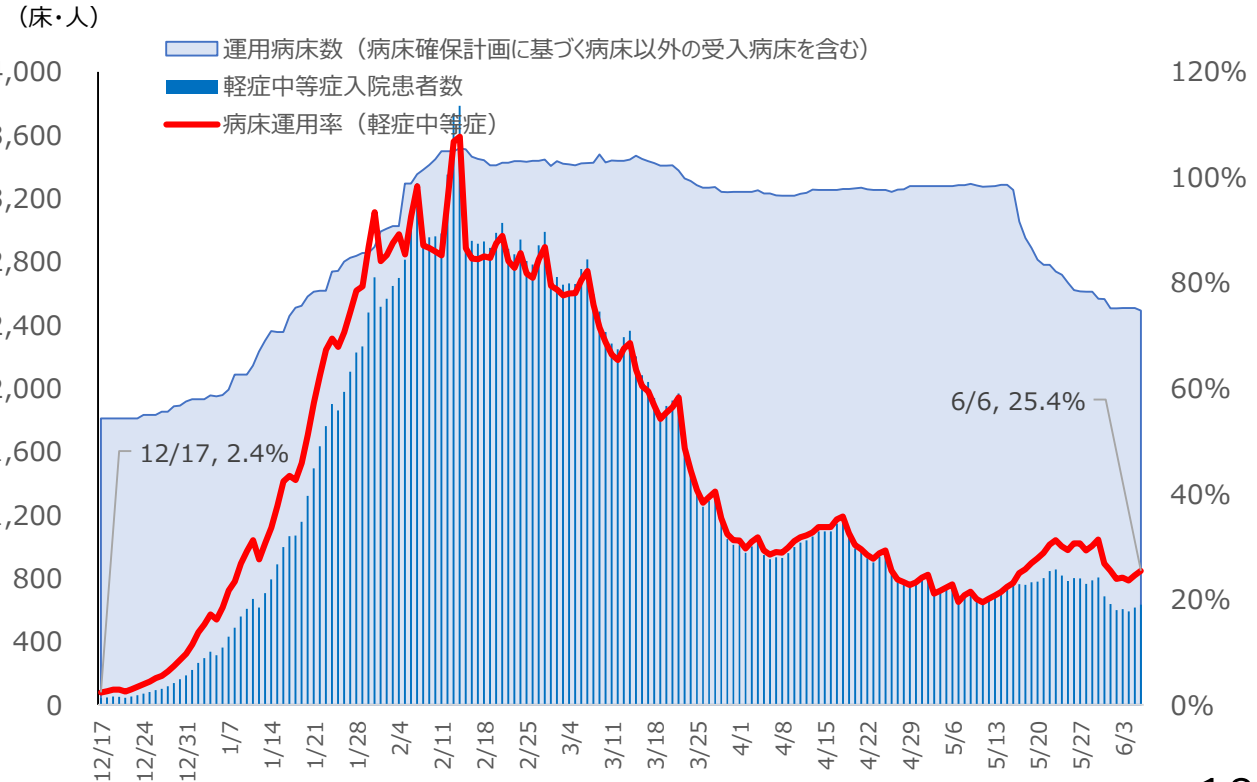
## ● 運用病床と運用率

6月6日現在 **病床運用率25.4%**

運用病床数 2,491床 入院患者数633人

※左記に同じ

軽症中等症病床（運用病床数・運用率）・軽症中等症入院者数



※5月13日、受入医療機関に対し、フェーズ2への引下げを通知

# 新型コロナウイルス感染症宿泊・自宅療養者、入院・療養等調整中者数

◆ 宿泊療養施設居室使用率は、6月6日時点で6.7%。

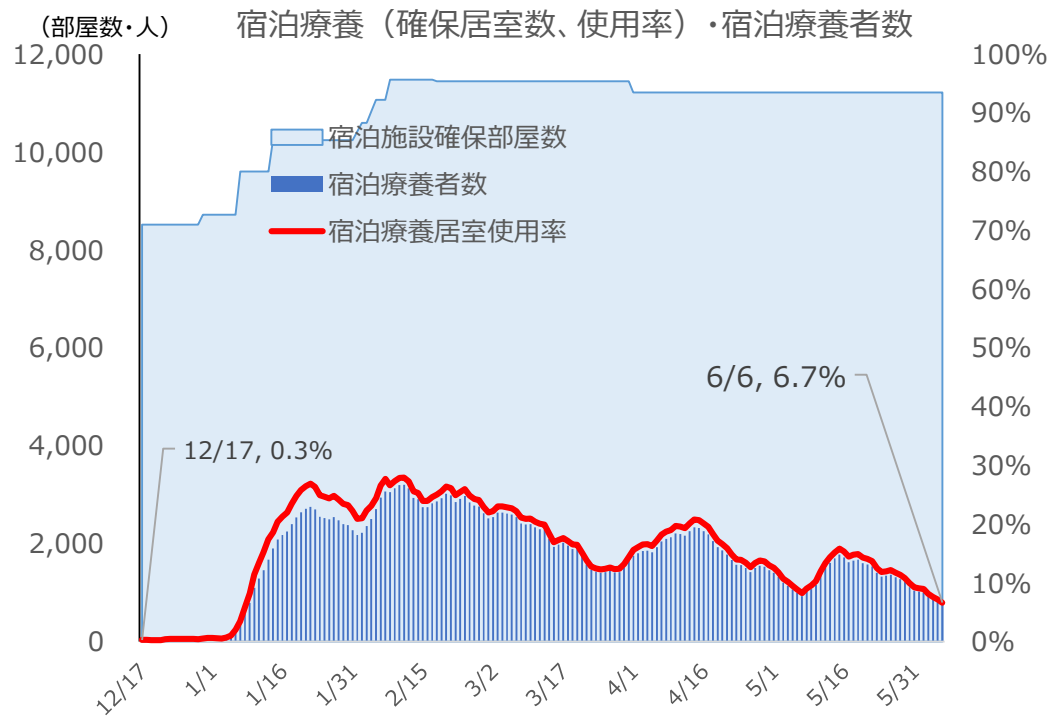
◆ 現在、自宅待機している方（自宅療養者数、入院・療養等調整中者数の合計）は15,353人。

## ● 宿泊療養施設使用状況

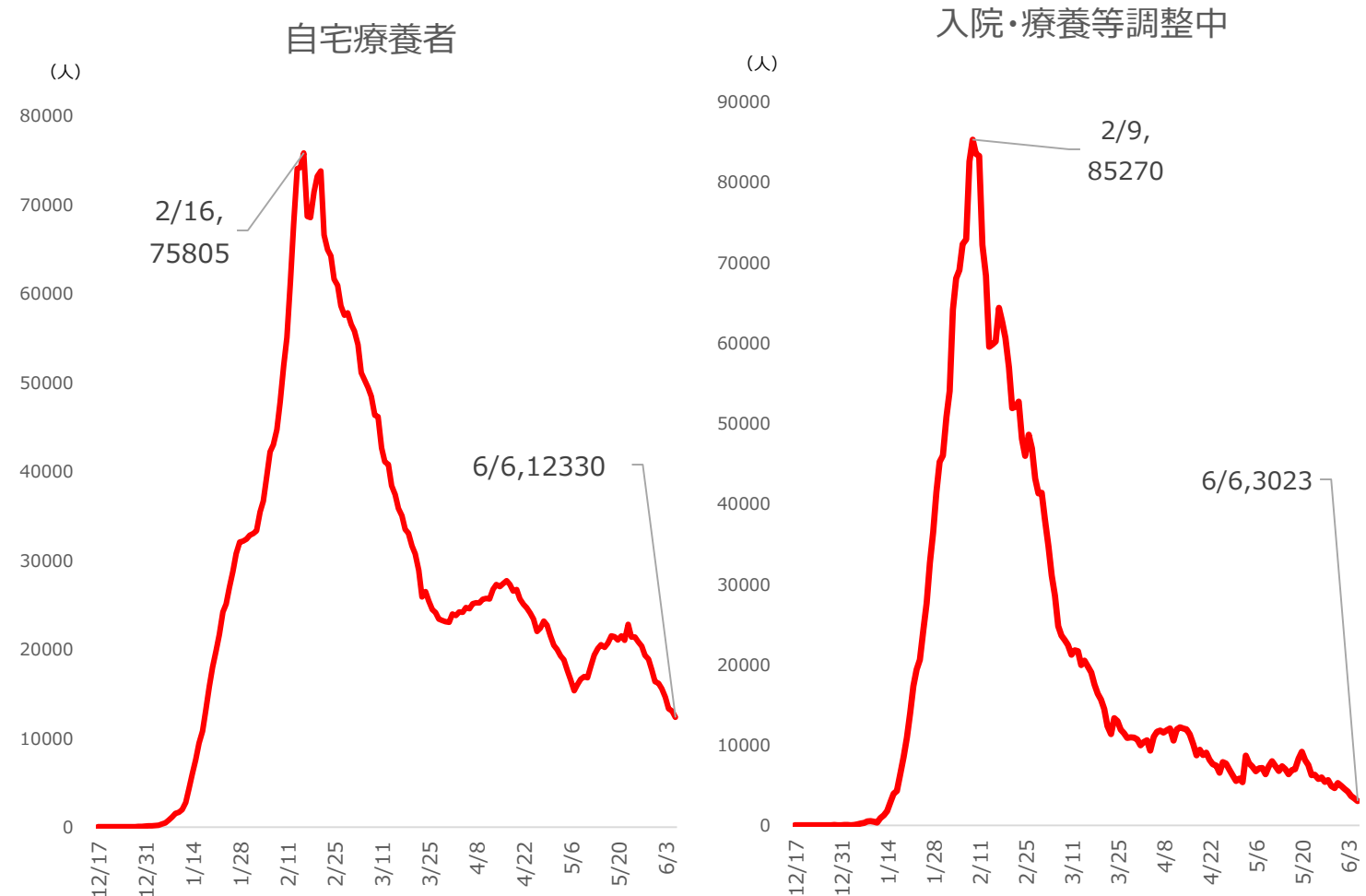
6月6日現在 **使用率6.7%**

居室使用数11,216室 療養者数 747人

**運用率11.9%**（運用居室数 6,290室）



## ● 自宅療養者数と入院・療養等調整中の数

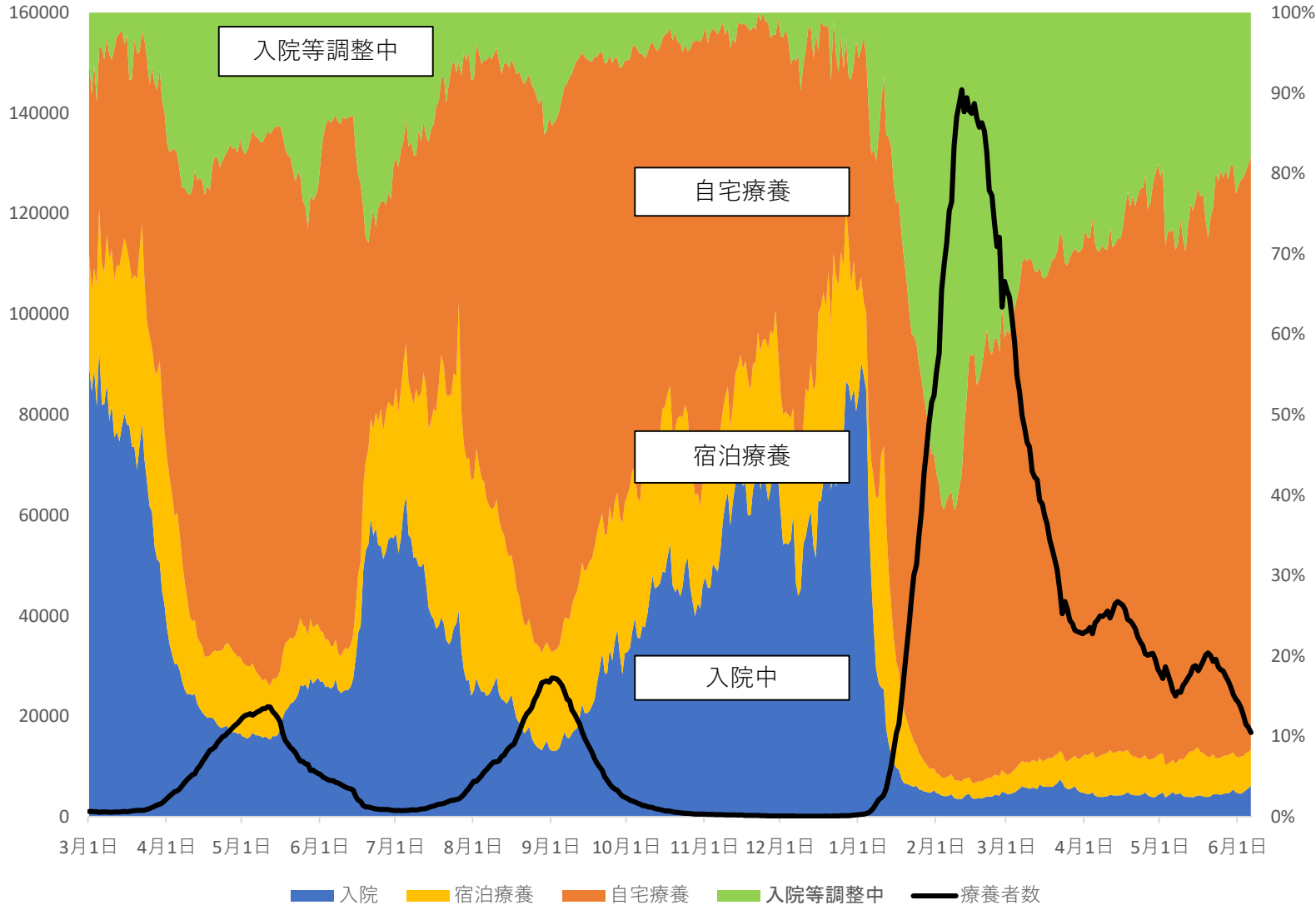


宿泊療養施設のうち、臨時医療施設（150室）における療養者数は27人。

大阪コロナ大規模医療・療養センターは、4月30日で施設への新規入所の受付を終了し、最終入所者は5月8日に退所。施設は5月31日に閉鎖。

# 入院・療養状況（6月6日時点）

◆ 入院率は、6月6日時点で3.9%。



	第四波 (5/11)	第五波 (9/1)	第六波 (2/11)	第六波 (6/6)
入院等調整中	14.7%	14.1%	57.6%	18.0%
自宅療養	68.6%	65.5%	38.0%	73.6%
宿泊療養	6.8%	12.2%	2.2%	4.5%
入院中	9.8%	8.2%	2.2%	3.9%
療養者数	21,900人	27,587人	144,639人	16,748人

※第四波、第五波は、最大療養者数となった日  
 ※2/11は第六波で最大療養者数となった日

※ 1月5日に患者の全員入院対応。1月7日、1月25日に入院・宿泊療養対象を見直し

### 3 感染状況を踏まえた対応

# 高齢者施設等における4回目接種促進に向けた取組

- ◆ 高齢者施設等の入所者が迅速かつ円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携を図りつつ、府として以下の取組を実施

## 取組1 府巡回接種チームの創設（接種体制の確保支援）

- 接種医療機関の確保が困難な高齢者施設等に対し、府の巡回接種チームによる接種を実施

## 取組2 接種券の代行手配（迅速な接種に向けた支援）

- 高齢者施設等の事務負担の軽減を図るとともに、接種医療機関の協力がより得られやすくなるよう、「**大阪府高齢者施設等接種促進サポートセンター**」において、接種券の手配を代行

## 取組3 接種の進捗管理に係る市町村への支援

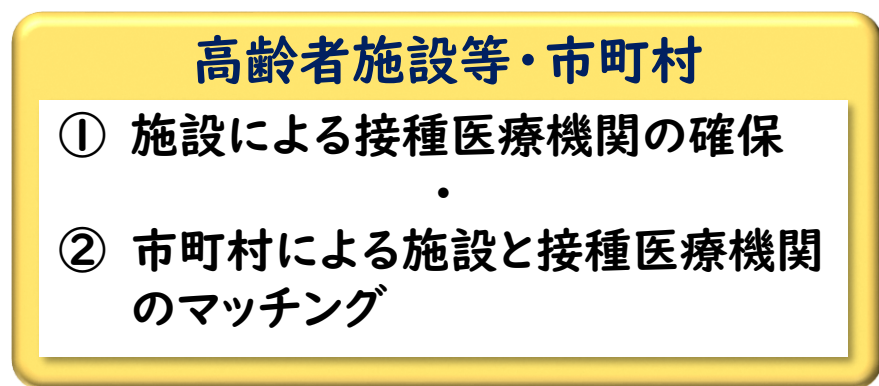
- 市町村における高齢者施設等の接種の進捗管理を支援するため、施設用報告システムを整備
- 府サポートセンターにおいて、施設によるシステムへの入力を支援するとともに、府から市町村に対し、入力された実績等を定期的に提供する仕組みを構築



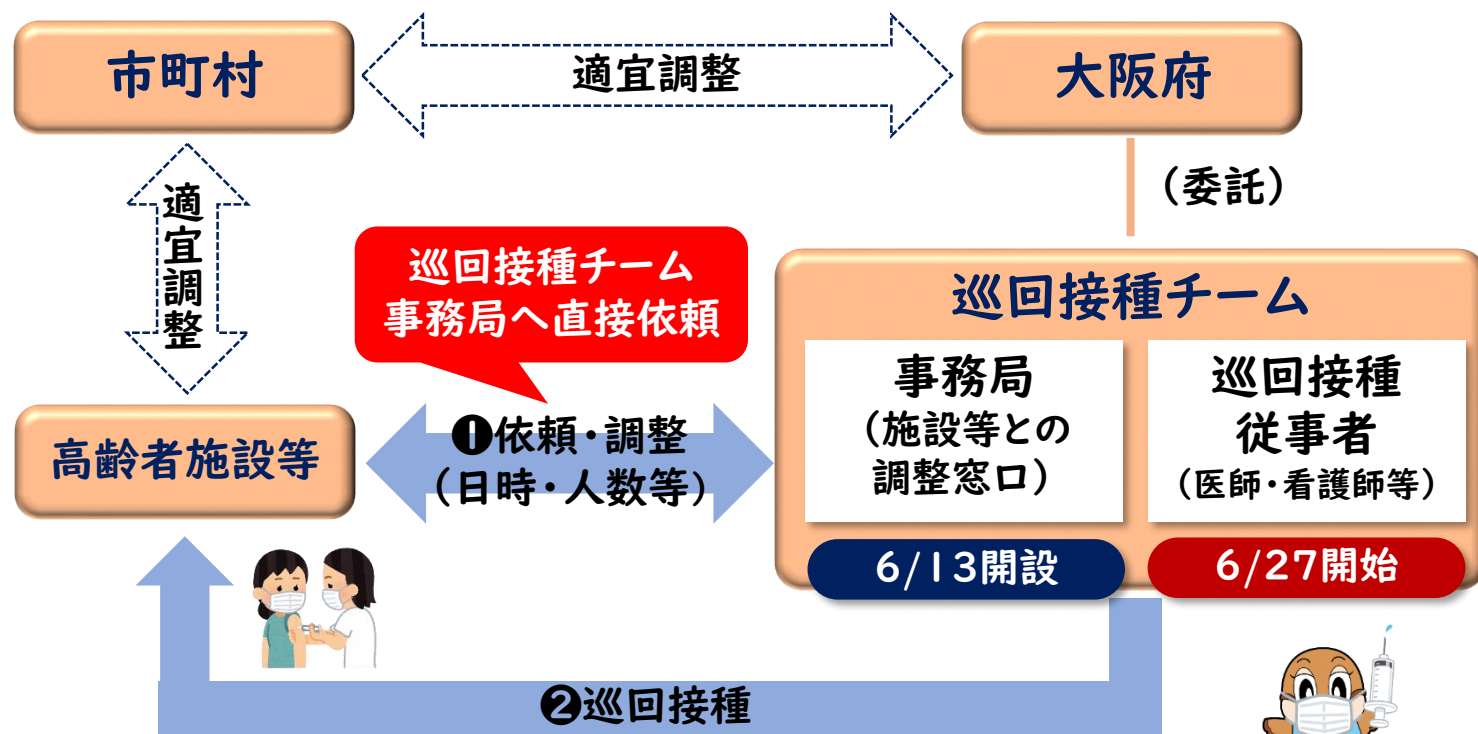
# 取組Ⅰ. 府巡回接種チームの創設（接種体制の確保支援）

◆ 市町村の接種体制を補完する観点から、接種医療機関の確保が困難な高齢者施設等に対し、府の巡回接種チームによる接種を実施

## □ 事業スキーム



※ 地域の医療機関等での対応が困難



©2014大阪府もずやん

## □ 接種体制

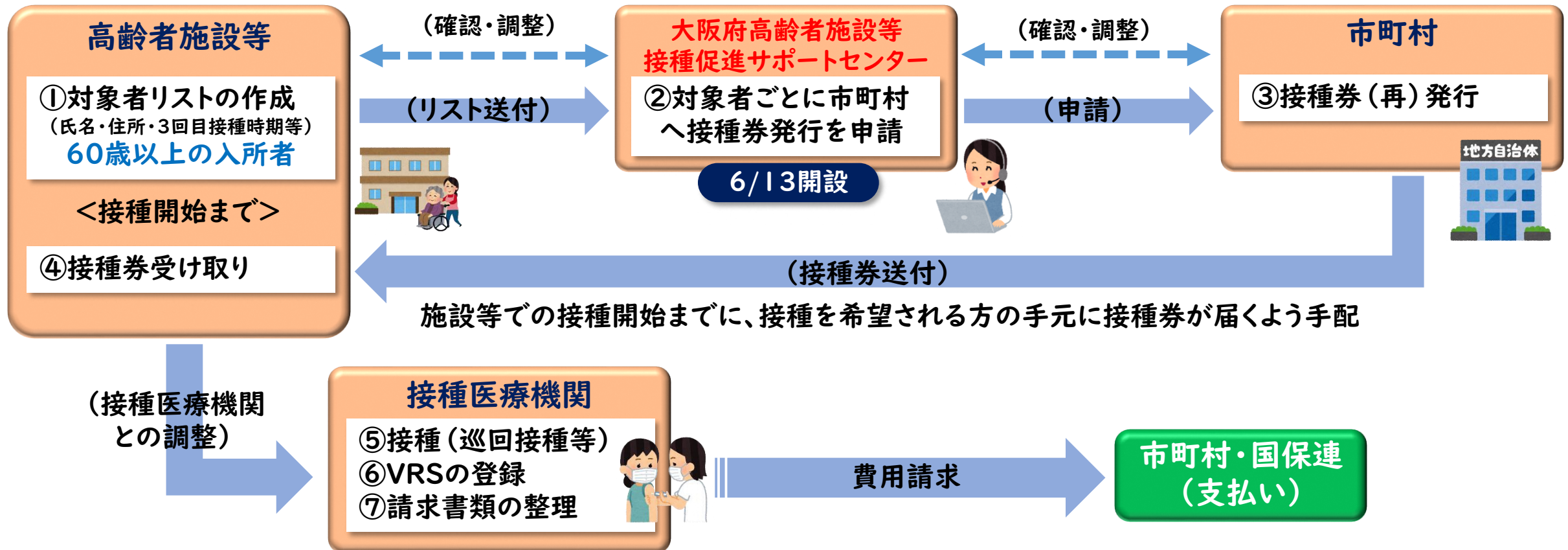
運営主体	府から委託を受けた医療法人（医療機関）	チーム体制	医師1名、看護師2名、事務員2名
チーム運用数	3チーム（依頼状況等を踏まえ最大5チームまで拡充）	接種可能数／日	120～250人（1チームあたり40～50人）
使用ワクチン	武田/モデルナ社	実施期間	令和4年6月27日（月）～令和4年9月30日（金） ※

※接種状況等により変更あり

## 取組 2. 接種券の代行手配（迅速な接種に向けた支援）

◆ 高齢者施設等における迅速な接種に向け、施設の事務負担の軽減を図るとともに、接種医療機関の協力がより得られやすくなるよう、府が設置する「大阪府高齢者施設等接種促進サポートセンター」において、接種券の手配にかかる事務を代行

### □ 事業スキーム



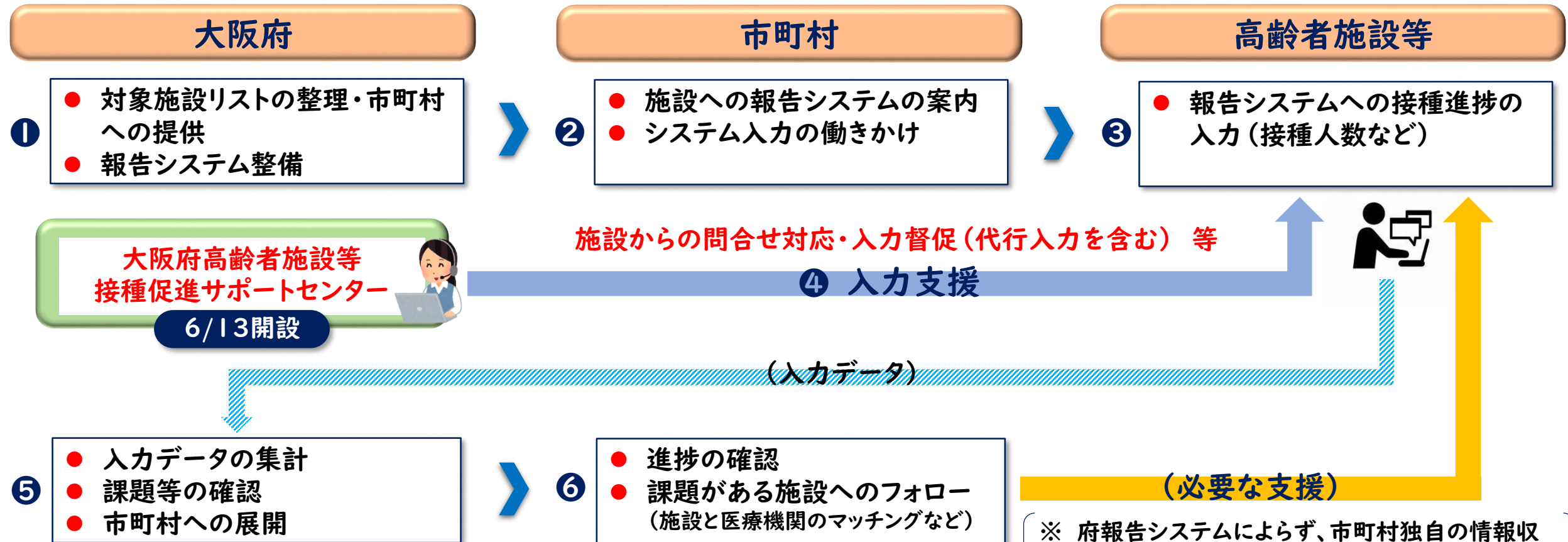
➡ 府として、上記スキームのとおり「接種券が届いてからの接種」の迅速化に加え、「接種券なしの接種」についても安心して進められるよう、後日の確実な接種券回収をサポートすることで、接種券の有無によらず、施設等で迅速な接種が行われる体制を整備

※ 18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する入所者の代行手配については、府個人情報保護条例に基づく手続き等が必要となるため、別途対応を検討

## 取組3. 接種の進捗管理に係る市町村への支援

- ◆ 接種の実施主体である市町村における高齢者施設等の接種の進捗管理を支援するため、施設用報告システムを整備
- ◆ 「大阪府高齢者施設等接種促進サポートセンター」において、施設によるシステムへの入力を支援するとともに、府から市町村に対し、入力された実績等を定期的に提供する仕組みを構築

### 事業スキーム



※ 府報告システムによらず、市町村独自の情報収集ツール等を用いて進捗管理を行うことも可

➤ 府として、サポートセンターを通じた施設への入力支援を可能な限り行いつつ、市町村に対し随時の進捗管理を要請<sup>19</sup>